



十二町っ子だより

学校だより 第8号
令和7年12月4日
氷見市立十二町小学校

目標に向かって頑張ったマラソン大会



11月13日にマラソン大会を行いました。今年は、グラウンドだけでなく、万尾地区の市道及び農道もコースに入れました。この大会に向けて一人一人が目標を掲げ、ランランタイムや体育の時間に練習を重ねてきました。

当日、子供たちはこれまでの練習の成果を出そうと全力で走りました。「がんばれ」と、友達や他学年を応援する声も聞こえました。

初めてマラソン大会に取り組んだ1年生も元気に走り切りました。「歩かないという目当てを達成できました」「昨年より順位が上がってうれしいです」等の発言がインタビューで聞かれました。ゴールしたときの表情からも達成感が伝わってきました。マラソンは友達と競うだけでなく、自分との闘いでもあります。困難を乗り越え、自分の目標に向けて頑張り抜くことの大切さを感じ取ることができました。今後の学校生活にもこの経験を生かしてほしいと思います。



伝統文化を体験したもちつき大会

11月29日に公民館との共催事業であるもちつき大会を行いました。平成5年から始まったもちつき大会。中止となった年もありましたが、今年で30回目を迎えました。地域との交流、そして日本の伝統文化の継承を目的とする十二町小学校の伝統的な行事です。



臼と杵でもちをつくことは、今は珍しくなりました。家庭はもちろんのこと、学校でもちつきを行うこともコロナ禍を経て少なくなっています。本校は、PTAや老人会、地域の皆様のご協力のおかげで開催できること、ありがとうございます。



子供たちは、「よいしょ、よいしょ」と声をかけて応援しました。また、一人一人がもちつきを体験しました。子供用の杵ではなく、大人用に挑戦する子供も見られました。地域の皆様にもちのつき方を学ぶ場面もありました。来賓の皆様も慣れた様子で一緒にもちつきをしてくださいました。きな粉もち、あんこもち、のりもち。「やっぱりきな粉が好き」「のりもちがよく伸びておいしい」等と子供たちは話していました。つきたてのものはどれもおいしく、みんな大喜びでした。



子供たちにとって、貴重な体験となりました。また、地域とつながる行事の魅力を感じました。ご協力いただきありがとうございました。



仲間と協力した宿泊学習 4～6年生



11月19日、20日に延期していた宿泊学習を行いました。国立のと青少年交流の家では、アーチェリー、マイスプーン作り、館内オリエンテリング、キンボール、野外炊飯等、屋外と館内の活動を組み合わせることで、11月でも楽しいプログラムを体験することができました。グリルのとでの食事もおいしく、大満足の様子でした。班の仲間と助け合ったり、時間の見通しをもって行動したりする姿が見られ、成長を感じました。



十二町っ子の様々な活動

新1年生との交流 1年生

11月7日に新1年生の体験入学がありました。学校クイズを出題したり、「はないちゃんめ」をして仲良く遊んだりしました。また、アサガオの種をプレゼントしました。新1年生に優しく接したり、てきぱきと進行したりすることができました。



がん教育 5・6年生

がんの治療をされた方からお話を聞きました。がんは日本人の二人に一人がかかる病気と知り、驚く子供たち。自分の家族がかかったらどうするだろうと考えていました。貴重なお話から健康のありがたさを感じていました。



エネルギー出前授業 4年生

太陽光パネルや手回しハンドルによる発電、二酸化炭素を調べる実験、電気自動車によるイルミネーション等、興味がわく楽しい内容が盛りだくさんでした。様々な発電の仕組みや、地球温暖化による弊害等も学ぶことができました。



アウトリーチ 影絵

精巧な切り絵と細工によって、シルエットだけで様子が伝わりました。ストーリーに合わせて電子ピアノの効果音も入りました。赤ずきんのお話の意外な展開に子供たちは大喜び。代表の子供が影絵にチャレンジする場もありました。



読書集会

読書クイズ、読み聞かせ、読書bingo、読書名人の表彰等があり、子供たちは楽しみながら本への関心を高めました。「本が好きなのでたくさん読みたいです」「体育館で遊んでいたけれど、読書も楽しそうだと思いました」等の感想が出されました。



火災予防研究発表大会

本校の6年生4名は、氷見市代表として大会に出場しました。火災予防のために取り組んできたプロジェクトの内容を、堂々と発表することができました。成績発表では真っ先に名前が呼ばれ、銅賞入賞をみんなで喜び合いました。

